

女子学生等を対象としたWEBセミナー及びWEB職業体験イベントの開催について

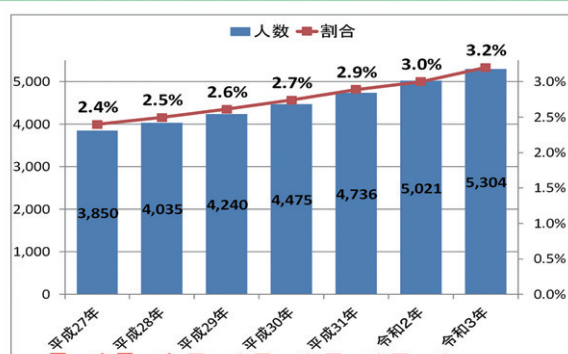
消防・救急課

すべての女性が輝く令和の社会へ向けて「第5次男女共同参画基本計画」が策定されておりますが、消防分野においても女性消防吏員の増加・活躍は、住民サービスの向上及び消防組織の強化につながることを期待されています。

消防庁では、平成27年に開催した「消防本部における女性職員の更なる活躍に向けた検討会」の提言内容を踏まえ、消防吏員に占める女性消防吏員の全国の比率を、令和8年度当初までに5%に引き上げることを全国の消防本部との共通目標として掲げています。

女性消防吏員については、令和3年4月1日現在、全国の724消防本部中、593消防本部で5,304人が活躍しています。全消防吏員に占める割合は3.2%となっており、警察官10.6%（地方警察官に占める女性警察官の割合）、自衛官7.9%（令和2年度末現在）、海上保安庁8.1%といった他分野と比較しても少ない状況であるものの、採用者に占める女性の割合は平成26年度の3.5%から7.4%と倍増しています。

女性消防吏員割合（令和3年4月）



増加人数 185人 205人 235人 261人 285人 283人

【女性消防吏員割合の推移】

この共通目標達成に向け、平成28年度から女子学生等を対象としたイベントを開催しています。イベント開催には、全国の各消防本部と連携し、消防を目指す女性やこれから社会人となる年齢層の女性に、消防の仕事の魅力と消防分野での女性の活躍を知ってもらい、興味を

もってもらうきっかけ作りを行っています。

今年度は、令和4年2月12日、26日に大阪府、福岡県において対面でのイベントを実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、「女子学生等を対象としたWEBセミナー」（以下「WEBセミナー」という）へと変更し開催しました。WEBセミナーでは、近畿・九州地方を中心とした36消防本部に御協力いただき、各消防本部の特色あるユニークな紹介や最後には現役の女性消防吏員からのメッセージを入れるなど、各消防本部の魅力を十分に紹介いただきました。当日は、約410名の視聴ありました。

また、令和4年2月13日には、学生等に採用試験応募への動機付けを促進するために、より具体的なコンテンツを設けた「女子学生等を対象としたWEB職業体験イベント」（以下「WEB職業体験イベント」という）を開催しました。



【開催通知チラシ】

当日は、LIVEコンテンツとして、川崎市消防局では女性で初となる署長から「仕事を続けるコツ～笑顔で働き続けるためには～」というテーマで講演いただくとともに、女性消防吏員を代表する立場から2名（北上地区消防組合消防本部、海南市消防本部）の方々から「消防業務全体の魅力」、「消防吏員の仕事」、「消防学校」について、講演をいただきました。

「女子学生等×女性消防吏員Zoom座談会」では、女子

学生等と現役女性消防吏員4名（鹿沼市消防本部、静岡市消防局、呉市消防局、伊予消防等事務組合消防本部）によるWEB座談会方式で、対話の機会を設け、災害活動や採用試験のことなど学生が気になる様々な質問にきめ細かく対応しました。

また、男性消防吏員を含めたパネルディスカッションでは、「仕事編」と「プライベート編」に分かれ、先輩消防吏員6名（八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部、郡山地方広域消防組合、富山市消防局、諏訪広域消防本部、尾三消防本部、北九州市消防局）によるディスカッションを行いました。

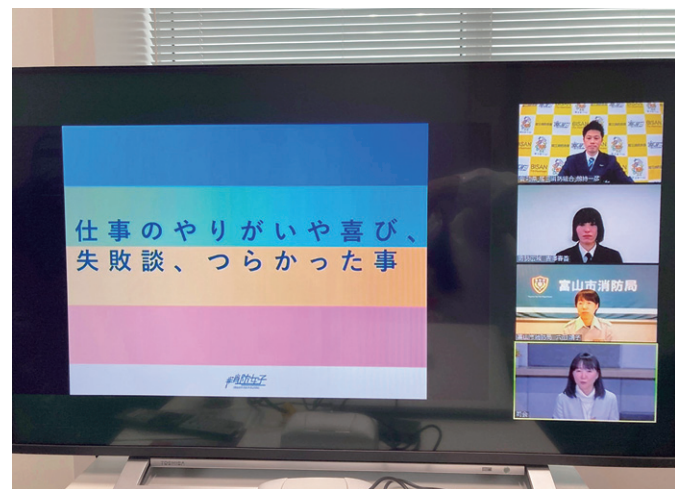
仕事編では、「消防士になって良かった事」、「仕事のやりがいや喜び、失敗談、辛かった事」、「職場の雰囲気や環境」、プライベート編では、「休日の過ごし方」、「プライベートの消防士あるある」、「ワークライフバランス」のテーマでディスカッションしていただきました。普段は別々の消防本部で働いている消防吏員ですが、消防士あるあるなどは互いにうなずきながら笑いもあるディスカッションでした。

さらに、学生等が見たい動画を選択しながら視聴を進めていくインタラクティブ動画を作成した動画には、大阪府立消防学校に御協力いただき、「学校生活の1日」、「女性訓練生インタビュー」、「施設の紹介」などの動画作成を行います。当日は、約330名の視聴がありました。

本イベントを通じて、少しでも多く女性の女性に消防の仕事に興味を持ってもらい、「女性消防士になりたい！」とっていただければ幸いです。



【WEB職業体験イベントでのインタラクティブ動画の画面】



【WEB職業体験イベント（パネルディスカッション）】



【WEBセミナー】



【WEB職業体験イベント（スタジオ内の様子）】